



さんらん 火薬

ボッチャを通して楽しくふれあいました 大曲支援学校との交流会

9月に入ってから、修学旅行や職場体験、職場訪問、前期期末テストなど、生徒たちの心に残る大きな行事が続いていますが、今週も大切な行事が行われました。



19日(火)に、大曲支援学校中等部の皆さんをお迎えし、本校の1,2年生とボッチャを通じた交流会を行いました。これまでは、学年ごとに本校と大曲支援学校との2会場で行ってきたものですが、今年は本校で一緒に行われました。

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた競技であり、全ての人が一緒に競い合えるスポーツです。パラリンピックの正式種目にも選ばれており、一昨年の東京パラリンピックでは、「火の玉JAPAN」の愛称で知られる日本代表が、個人や混合チームで金、銀、銅全てのメダルを獲得したことが記憶にも新しいことと思います。



紐を使ってボールの距離を比較



作戦会議中

今回の交流会では、本校と支援学校の混合チーム同士による対抗戦を行いました。途中でタイムを取って作戦を練ったり、いいところにボールが止まると拍手で称え合ったりしながら、楽しく活動している姿が見られました。

来年度以降は、この交流を大川西根、内小友の両小学校にも広げられたらと考えています。バリアフリーな活動を通して、西地区の学校間連携をさらに活発にしていきたいと思ひます。



みんなで記念撮影

西中祭に向けていよいよ始動!

前期を締めくくる行事でもある「西中祭」の一般公開が10月7日(土)に予定されておりますが、その準備も先週から始まっています。



15日(金)に、西中祭に向けた全校集会と、部門決めの学級活動を行いました。

全校集会は、西中祭準備の開始に当たって西中祭についての全校生徒の共通理解を図り、活動に向けて意欲的な取組の雰囲気高めることをねらいに行ったものです。集会では、今年度の西中祭テーマ「Are you ready? ～手を取り合って最高の思い出を～」が発表され、今後の計画や部門の内容が説明されました。西中祭の実行委員会でもある生徒会総務より、今年度は生徒会テーマである「Connect」にちなみ、お客様との「つながり」や「ふれあい」を大切にする西中祭にしようという思いが述べられ、各部門の活動内容について、写真入りのスライドを用いて、みんなに分かりやすい説明をしてくれました。全校集会の後、学年ごとに部門の役割を相談し、それぞれの担当が決まりました。全校生徒が一人一役以上を頑張っていくこととなります。



そして第1回部門別会議が、今週19日(火)に行われました。この会議では、それぞれの部門ごとに、活動目標やConnectの方法、Connectタイムの取組内容等について話し合われました。

本格的な部門活動は、新人総体後ということになりますが、皆さんに心からのおもてなしができる西中祭になるよう、全校一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



第1回部門別会議(舞台部門)

新チームを壮行会で力強く応援



いよいよ明日から、郡市新人総体が始まります。各部の新チームが、夏からこれまで積み重ねてきた練習の成果を発揮するときがやってきました。

21日(木)には、大会に先立って壮行会を行いました。学校を代表して各競技に出場する選手を全校で励まし、互いに健闘を誓うことを願って行ったものです。夏の郡市総体の時と同様に、選手紹介や激励の言葉、全校応援などで盛り上がりのある会となりましたが、今回は、既に部活動を引退した3年生の期待も激励の言葉などから強く感じられました。選手の皆さんには、この壮行会で受けた応援を一人一人のエネルギーに変え、カー杯戦ってきてくれることを期待しています。



各競技の日程や組み合わせ等については、既にお伝えしておりますが、今回も各会場で熱戦が繰り上げられます。ご家庭の皆さんや地域の皆さんからも選手たちに温かいご声援をよろしくお願いいたします。

郡市新人総体 明日開幕



9月12日(火) あさがお運動④

今年度4回目の「あさがお運動」を大曲西中、大川西根小、内小友小で行いました。



今年のこの活動も、あと1回で終わりとなります。最後まで元気なあいさつを届けてほしいと思います。



ここまでの学習の習熟度を確認する「前期期末テスト」を実施しました。

9月14日(木) 前期期末テスト

修学旅行や職場体験等の余韻に浸る間もなくテスト勉強を頑張った生徒たちでしたが、みんな真剣な表情で問題と向き合っていました。

9月20日(水) 1年「曲屋」見学



曲屋の前で松塚さんが説明

1年生が、家庭科の学習の一環として、農業科学館にある「曲屋」を見学させていただきました。

曲屋とは、日本の伝統的家屋(民家)の建築様式の一つで、L字型になっているのが特徴です。農業科学館のものは、平成元年に旧田沢湖町の伊藤家より展示用として寄贈、移築されたもので、登録有形文化財(建造物)として文化庁にも登録されています。

この日はゲストティーチャーとして、「やまと建設事務所」の社長さんがいらしてください、曲屋の歴史的、風土的な背景や、当時の生活と家のつくりの関わりなどを詳しく説明してくださいました。1年生は、メモを取りながら熱心にお話を聞いたり、積極的に気付いたことや疑問を発表したりしながら学習に臨んでいました。

今回は、過去の住まいからその変遷を知ることがねらいとした学習でしたが、ゲストティーチャーによる授業はこの後も予定されており、11月には「エコハウスをつくらう」というテーマで、未来の住まいの在り方を考える大曲南中との合同授業も計画しています。1年生の皆さんには、実物を見たり、専門家から直接学んだりできる貴重な機会を大切にしてほしいと思います。



昔は竈(かまど)で調理していました



天井が吹き抜けになっている部屋も